

SDGs特別賞

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広告主名	一般社団法人全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会	期間	2026年3月24日～
施策名	ケアのまなざしプロジェクト	地域	北海道/関東/近畿/中国/九州
施策に該当する ゴールナンバーに○	1・2・ 3 ・ 4 ・5・6・7・ 8 ・ 9 ・10・11・12・13・14・15・ 16 ・ 17	媒体	自社webサイト

1. 課題策定までのストーリー（社会課題をどう捉えたのか）

すべての人に「良い介護」が届いていない。

超高齢社会が加速する中、**介護現場**は深刻な人材不足、外国人介護人材や新人の教育問題、そして「ケアの属人化」という危機に直面。

①**人材確保の限界** — 外国人介護人材を採用する小規模多機能事業所が24%超に達している一方、育成の仕組みは旧態依然のまま。

②**認知症ケアのブラックボックス化** — マニュアル化不可能な「場当たり対応」が常態化。すべての人に良い介護が行われていない。

③**暗黙知の断絶** — 「あのスタッフはすごい」という評価があっても、そのスキルや経験が共有できない。言語化されないまま失われていく。

介護業界の变革を目指し、**あえてAIとスマートグラスという異分野のテックを持ち込み、この構造的課題に挑んだ。**

2. SDGs目標達成につながる広告制作物や施策内容

世界初！スマートグラス×AIで「良い介護の暗黙知」を可視化！

介護職員の一人称視点の映像・音声をスマートグラスで記録し、北海道から鹿児島まで**全国7事業所で159映像（100時間超）**を収集。

AIで映像を解析し、「**なぜそのタイミングで声をかけたのか**」「**どこを見て危険を予測したのか**」を深掘りするインタビュー設問を自動生成。

その洞察をもとに**世界初、介護職員のための「いいケア探求プログラム」**を開発。誰でも使えるよう《ケアのまなざし》として制作、公開。

Shoukibo.Net
介護・福祉・医療・教育・社会福祉・社会貢献

介護士の実際の視点＝スマートグラスの映像をAIであたたく！



3. 成果や反響（社会に対するインパクト、社外からの評価、社内からの反応などをご記入ください）

連絡会加盟事業所の現場が大きく変わった！

①**「主観→客観」へのパラダイムシフト**：一人称映像×AIにより、本人でさえ気づけなかった「無意識の職人技」が初めて客観評価・言語化できるようになった。

②**超高速・多言語フィードバック**：AIの即時分析で育成担当者の負担を抜本的に削減。外国人介護職員の指導にも即応できるように。

③**暗黙知の言語化エンジン**：AIが生成するインタビュー設問が、介護職員自身の「気づき」を引き出し、自律成長を促す仕組みに。

④**「付加価値の高い介護」の自己実感化**：作業効率・回数という旧来の尺度を超え、当事者の意欲に伴走する介護の価値を、数値ではなく体験として可視化。何よりも、「当事者の笑顔」が増える介護を実現できた。

BSの番組で特集された！



自由表記

すべての介護職員が「いいケア」を、すべての高齢者へ「良い介護」を！
介護の「効率化」ではなく介護の「幸福化」のためにAIとテクノロジーを活用！

AIの役割を生産性向上ツールに限定せず、**人間力を高める付加価値激増ツール**として再定義した点が核心。このプロジェクトで、国籍、性別、年齢関係なく「**良い介護に向けて考える**」アプローチが可能になり、かかるすべての方の「**笑顔**」が増えた。

現場の経営者や介護士さんの声

- ・現場が大きく変わった。これは介護自体が大きく変わる！
- ・AIだから怒られてると思わないし、楽しかった！
- ・無意識に行った介護の意味を言語化されて自信につながった。
- ・自分の介護について思いがけず良い評価をされて「鳥肌が立った」といった職員がいた（喜び）。
- ・スタッフのモチベーションが上がり、介護計画や評価の見直しが進んだ。
- ・職員さんとおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が増えた！